

その言葉や行動、

コロナいじめ

になっていませんか



今、新型コロナウイルス感染症が収まらない中、全国的に様々な問題が起きています。高崎市で悲しい思いをする仲間を出さないために、もう一度自分の言葉や行動を見直してみましょう。

全国では、

こんなことが…

- ・せきをしていた子が「コロナ」と呼ばれた。
- ・欠席していた子が学校に行ったら、さげられた。
- ・親が病院に勤めているという理由で変な目で見られた。
- ・本人や家族が感染したら、学校で悪口を言われたり、ネットに書き込まれたりした。



感染した人は悪くないという正しい理解をしよう

コロナに対する、自分勝手な思い込みやうわさ話は絶対しない

感染者や検査を受けた人の気持ちを思いやろう

医療関係者をはじめ感染防止に取り組んでいる人たちに感謝しよう

高崎経済大学附属高等学校 平田 蒼さん

高崎市教育委員会